

新技術開発

食の安全・安心を支えるフロント/テクノロジー

食品ニューテクノロジー研究会定例セミナー

日本食糧新聞社主催の食品ニューテクノロジー研究会は11月19日、東京・秋葉原で「食の安全・安心を支えるフロント/テクノロジー」をテーマに開催した。機能水研究振興財団・堀田元理事長が座長を務め、同会員など30人が参加した。



る正しい知識・情報の取得や安全性をチェックする技術の進歩が不可欠である。昨今、食に関するフェイクニュースが後を絶たず流れ、そのことが食の安全・安心にネガティブに作用している。そうしたフェイクニュースに敢然と立ち向かって行動されている山崎氏に「ファクト

食の安全と安心を科学する会

理事長 山崎 毅氏



食のリスクに関するファクトチェックの重要性

「食の安全・安心」が、改めて重要なキーワードになっている。食のリスクに関するファクトチェックの重要性は、消費者が安全な食を選択する上で不可欠な要素である。フェイクニュースの横行は、食の安全と安心を脅かしている。

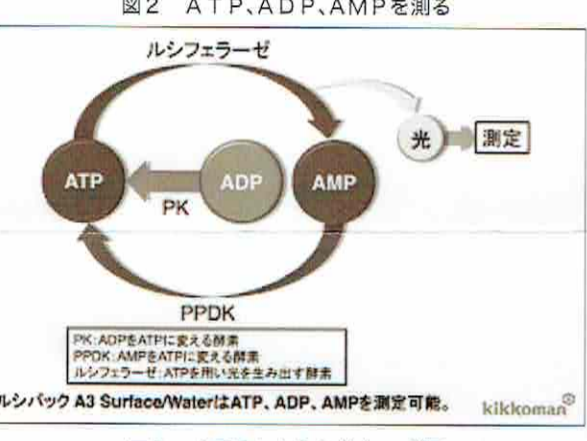
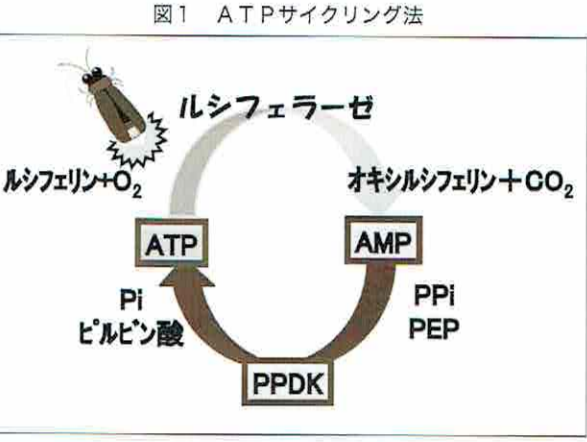
ATP・迅速検査研究会

理事 本間 茂氏



ATPふき取り検査の進歩と重要性

ATPふき取り検査の進歩と重要性は、衛生管理現場にもたらした。ATPは、あらゆる表面の汚れを測定できる。最新の測定機は、高精度でATPを測定可能である。



- 食品ニューテクノロジー研究会入会案内: Information for joining the Food New Technology Research Association.



イスラム市場参入の方法・情報・ノウハウを集約! 好評のうち完売した初版からさらに内容を拡充しました! 初版より80ページ増の大幅増量となっています